

高岡市美術館創立 75 周年記念
「ART☆MILKY WAY タグチアートコレクション展」開催のお知らせ



タグチアートコレクション、北陸初公開。

この度、タグチアートコレクションは、高岡市美術館において「高岡市美術館創立 75 周年記念 ^{アート☆ミルキー}ART☆MILKY WAY ^{ウェイ}タグチアートコレクション展」(会期：2026 年 9 月 19 日～11 月 29 日)を開催いたします。

タグチアートコレクションの北陸初公開となる本展覧会では、多様な表現からなるコレクションの魅力を、アーティスト／作品の間に働く引力によって形成される「小宇宙＝アートミルキーウェイ」になぞらえ、作品同士が織りなす関係性や、そこから生まれる無限の広がりや、770 点を超えるコレクションの中から厳選した約 50 点を通して体感していただけます。

コレクションを始めるきっかけとなったキース・ヘリングのアイコン的な作品をはじめ、奈良美智、杉本博司、塩田千春など日本を代表するアーティストによる作品、ルー・ヤン(陸揚)、エキソニモによる 2020 年代以降の作品まで、展覧会を読み解く 4 つのキーワード「ポップ→ステップ!」「アートを味わう」「アート／ハート」「現在／未来」を道しるべに、宇宙を遊泳するようにお楽しみください。

また、会期中には、高岡市北部に位置する伏木エリアで開催される『ふしきの「ふ」芸術祭』(会場：勝興寺、北前船資料館、気象資料館／会期：10 月 11 日～18 日)にも出張展示を行います。オノ・ヨーコや藤倉麻子の作品を展示し、より多くの方に現代アートに親しんでいただける機会を創出します。

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所(担当：稲葉)／メール：press@artsplus.jp

タグチアートコレクション

ミスミグループ創業者・田口弘と長女・美和が収集する世界各地の現代アート作品約 770 点（2026 年 6 月現在）からなるアートコレクション。特定の展示会場を持たず、コレクションの貸し出しを通して、特に首都圏以外の地域で現代アートの鑑賞機会を創出すべく活動。2019 年にコレクションの運営・企画を担う一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所を立ち上げ、これまで国内 10 カ所以上の美術館で積極的に展覧会を開催するほか、アートカードの開発や各種ワークショップ、小中学校でミニ展覧会を開催する「デリバリー展覧会事業」なども行っている。 <https://taguchiartcollection.jp/>

出品作家 — 計 37 組

ロッソン・クロウ | エルムグリーン & ドラッグセット | エキソニモ | サム・フォールズ | スボード・グプタ | キース・ヘリング | ダミアン・ハースト | ヘイヴ・カフラマン | ブロンウィン・カット | 川俣 正 | ルー・ヤン（陸 揚） | 丸山直文 | ベアトリス・ミルハーゼス | 森村泰昌 | リチャード・モス | ザネレ・ムホリ | ヴィック・ムニーズ | 村上 隆 | 奈良美智 | マリア・ネポムセノ | オノ・ヨーコ | ジュリアン・オピー | ゲド・クイン | マーク・クイン | トーマス・ルフ | 澤田知子 | 塩田千春 | 空山 基 | 杉本博司 | 杉戸 洋 | スーパーフレックス | 田名網敬一 | 照屋勇賢 | ジャナイナ・チェッペ | アンディ・ウォーホル | 渡辺 豪 | エルヴィン・ヴルム

みどころ

ルー・ヤン（陸 揚）による映像作品《DOKU the self》を上映

東京と上海を拠点に活動し、国際的な注目を集めるアーティスト、ルー・ヤン（陸 揚）による映像作品《DOKU the self》（2022 年／36 分）を上映します。大乘仏教の教え「独生独死」（人は一人で生まれ、一人で死ぬ）を参照点とする映像シリーズ「DOKU」の一作である本作では、作家自身のデジタルアバターが仏教世界やさまざまな次元を往還しながら「生と死」や「身体と精神」といったテーマを探求します。

時代や地域、表現を横断する展示構成

1990 年代から 30 年以上にわたり形成されてきたタグチアートコレクションを活かし、多彩な作品が互いに響き合いながら、一つの「小宇宙＝アートミルキーウェイ」を描き出す展示構成となっています。絵画や彫刻などの伝統的な表現から、3DCG やデジタル技術を用いた作品まで、多様な作品群を通して、作品同士の関係性や新たな発見をお楽しみください。

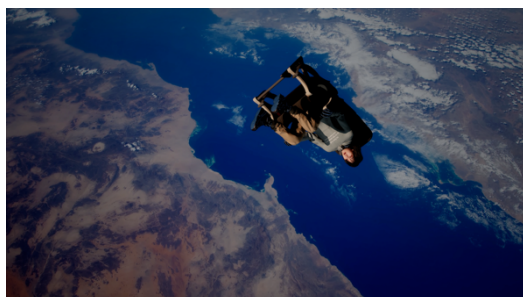
高岡市美術館とのコラボレーション

高岡市美術館創立 75 周年を記念する本展では、タグチアートコレクション所蔵の田名網敬一《彼岸の空間と此岸の空間》（2016 年）と呼応するように、同氏と親交のあった篠原有司男による《Angel Queen》（1993 年／高岡市美術館寄託作品）もあわせて展示します。日本のポップ・アートの礎を築いた戦友とも言える二人の鬼才の作品を通して、同館とのコラボレーションをぜひ感じてください。

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所（担当：稲葉）／ メール：press@artsplus.jp

主な出品作品



ルー・ヤン（陸 揚）《独生独死—自我》2022 年
© Lu Yang, Courtesy the artist and Société, Berlin



田名網敬一《彼岸の空間と此岸の空間》2016 年
© Keiichi Tanaami, Courtesy of NANZUKA



澤田知子《School Days / E》2004 年
© Tomoko Sawada, Courtesy of ROSE GALLERY



空山 基《Sexy Robot_Floating》2019 年
© Hajime Sorayama, Courtesy of
NANZUKA



リチャード・モス《Come Out (1966) I》
2011 年 Richard Mosse, Courtesy the artist
and carlier | gebauer, Berlin/Madrid



ベアトリス・ミルハーゼス《Tonga I》1994 年
© Beatriz Milhazes



マリア・ネボムセノ《Nariz rosa》2024 年
© Maria Nepomuceno, Courtesy the artist
and nichido contemporary art,
Photo by Victor de Beija

関連イベント

〔開幕記念〕スペシャルトーク

登壇者：田口美和（タグチアートコレクション共同代表）、塩原将志（アート・オフィス・シオバラ）

日時：9 月 19 日（土）14:00～15:00 | 会場：1 階企画展示室

※要観覧券（当日会場にお集まりください）

ユニークベニューTAKAOKA ミュージアムパフォーマンス

出演：元井康平（ダンス）、川西佑佳（インスタレーション）、Maruboro（DJ）

日時：9 月 26 日（土）14:00～15:00 | 会場：パティオ（美術館中庭）

※入場無料

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所（担当：稲葉）／ メール：press@artsplus.jp

対談：「ふしきのふ」 Meets タグチアートコレクション

講師：田口美和、塩原将志、米田昌功（美術家）

日時：10 月 11 日（日）14:00～15:00 | 会場：地階ビトークホール

定員：80 名

※聴講無料（当日会場にお集まりください）

学芸員によるギャラリートーク

日時：10 月 24 日（土）、11 月 7 日（土）各日 14:00～15:00 | 会場：1 階企画展示室

※要観覧券（当日会場にお集まりください）

開催概要

【展覧会名】高岡市美術館創立 75 周年記念 ART☆MILKY WAY タグチアートコレクション展

【会 期】2026 年 9 月 19 日（土）～11 月 29 日（日）

【休 館 日】月曜日（ただし 9/21、10/12、11/23 は開館）、9/24、10/13、11/24

【開館時間】9:30～17:00（入館は 16:30 まで）※9/19 は 10:30 から開場

【会 場】高岡市美術館 企画展示室（住所：富山県高岡市中川 1 丁目 1 番 30 号）

【主 催】高岡市美術館 [(公財) 高岡市民文化振興事業団]、北日本新聞社

【共 催】高岡市

【後 援】富山県、高岡市教育委員会

【企画協力】公益財団法人公益推進協会 タグチ現代芸術基金、一般社団法人 アーツプラス現代芸術研究所、
アート・オフィス・シオバラ

【観 覧 料】一般 1,500 円（前売・団体・シニア 1,200 円）

高校・大学生 800 円（団体 640 円）／中学生以下無料

※団体は 20 名以上、シニア割引は 65 歳以上

※身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育など各種手帳をお持ちの方および付き添いの方（1 名）は観覧料が半額です。（手帳またはミライロ ID をご提示ください）

高岡市美術館 <https://www.e-tam.info>

タグチアートコレクション <https://taguchiartcollection.jp/exhibition/2026-takaoka/>

広報図版

本リリースに掲載の広報図版のお貸出をご希望の方は、必要事項（御社名、ご担当者名、貴媒体名、記事掲載・公開予定日）とあわせてご希望の画像をメールにて下記までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人アーツプラス現代芸術研究所（担当：稲葉）／ メール：press@artsplus.jp